

# これまでの仙台市中小企業活性化会議 での主なご意見・ご提案等について

平成27年8月25日  
仙台市経済局

No.	主なご意見・ご提案	仙台市の取組み状況・今後の方向性
I 政策の方向性等に関すること		
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材、企業、産業いずれでも良いので選択と集中により施策を重点化すべき。</li> <li>・地域がビジョンを示さないと人が集まらない。人が集まらなるとノウハウが蓄積されない。</li> <li>・選択と集中によりトッププレイヤーを輩出していくべき。</li> <li>・これまでのデパート的な支援（色々な支援メニューを揃える）より、セレクトショップのようにコンセプトチャルな支援を望む。</li> <li>・仙台市としてはどういった企業に増えて欲しいかという立ち位置を明確にすべき。</li> <li>・「雇用を生む力」と「稼ぐ力」のある企業を増やすべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年3月、「ソーシャルイノベーション特区」として、本市が地方創生特区に指定された。今後、国とともに、起業や近未来技術等に係る産学連携を後押ししていく。</li> <li>・本市の特性についてより分析を行い、活性化施策の重点化について検討していきたい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンストップ支援体制を整備・拡充すべき。</li> <li>・制度を有効活用するための組織間の連携が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市では、産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画の認定を取得するとともに、起業支援センター「アシ☆スタ」にて専門家による窓口相談や各種セミナー等により、ワンストップ支援に取り組んできた。</li> <li>・今後、関係機関との調整により、さらなる体制の整備・構築を進めていきたい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議での成果目標として、件数ではなく、売上を目標とすべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標として何が適切かについては、さらに会議でご議論いただきたい。</li> <li>・会議の議論を踏まえながら、本市経済の成長を継続させることができるような支援のあり方や体制整備について検討していきたい。</li> </ul>

No.	主なご意見・ご提案	仙台市の取組み状況・今後の方向性
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの機関等が垣根を越えて連携（シームレス化）していくことが重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との調整により、さらなる体制の整備・構築を進めていきたい。</li> </ul>
II 事業者への支援等に関すること		
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業間もない、知名度の低い企業の製品等を行政が優先的に購入することで、企業の信用度向上につながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、条例に規定する受注機会の増大の具体的な取組みについて、国や他都市の状況を調査するとともに、担当部署と具体的な対応策を検討していきたい。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政側から企業の取組みなどを取り上げて、市民に周知してもらえると認知度向上につながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な情報発信に向け、大学等と連携して具体的な方法を検討していきたい。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業も高齢化が進んでいるが、変化を好まない体質があり、女性活用も進んでいない。成長に向けた支援が必要である。</li> <li>企業支援団体の組織力を上げるためにも、6次産業化など新しい分野に取り組むことが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業も含めた新しい取組みについて現状分析を行い、効果的な取組みの方向性を検討していきたい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業者は一般に経営に明るくないため、経営に詳しい者との連携を模索していくべき。</li> <li>農業においては、高齢者の持つ栽培等に係る知識と、若者のマンパワーを活かす支援が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営ノウハウを有する担い手の確保・育成を図るため段階に応じた支援体制や連携のあり方について検討していきたい。</li> <li>農業者担い手不足や高齢化の状況を踏まえ、若者の新規就農促進に向けた取組みについて検討していきたい。</li> </ul>

No.	主なご意見・ご提案	仙台市の取組み状況・今後の方向性
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6次化支援は、商品開発を行い、販売を開始すると支援が終了してしまうが、さらなる販路拡大の支援が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の実態、支援の課題についての的確に捉え、事業継続、販売促進に向けた取組みのあり方について検討していきたい。</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃業しても再チャレンジできる環境づくりも必要である。</li> <li>・一度起業に失敗してもやり直しができる仕組みを構築して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業支援に力を入れているが、失敗から立ちあがり、再度挑戦する意欲のある事業者への支援のあり方、制度・体制の構築に向けて検討していきたい。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業支援だけでなく、既存の中小企業の新事業活動も支援すべき。</li> <li>・既存の中小企業への支援として、大企業との接点があれば、大企業の力を借りることで新事業への取組みが容易になる。</li> <li>・コラボレーションを生むための場づくりをお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家によるハンズオン支援や各種セミナー等により既存中小企業の新事業展開を促進していきたい。</li> <li>・中小企業振興団体や大学等との連携・協力を強化し、企業同士のマッチングの取組みを促進できるよう検討していきたい。</li> <li>・仙台市起業支援センター「アシ☆スタ」に、起業家同士の交流を促進する場を新たに設置していきたい。</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金の申請手続きを簡素化し、支援を迅速化して欲しい。</li> <li>・事業計画書の記載内容ではなく、客観的な実績等により補助金審査をすべきではないか。</li> <li>・補助金申請書の書き方等を指導・助言してもらえる場があるとありがたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金申請手続きの簡素化について検討していきたい</li> <li>・補助金申請における事業計画書等の策定について相談できる窓口を構築していきたい。</li> </ul>

No.	主なご意見・ご提案	仙台市の取組み状況・今後の方向性
Ⅲ 人材育成・確保等に関すること		
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者への仕事満足度調査や、仙台出身者でUIJターン就職をしなかった方への調査を実施してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご提案いただいた調査の実施に向け、大学等と連携し、調査の枠組みを検討していきたい。</li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営者や従業員が学びあう場が重要であり、勉強会を集めたイベント等があるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種機関でセミナー等が開催されているものの、連携が十分でないことから、効果的に学びあい、学んだことが企業活動や地域貢献に還元できるよう、実現に向けた枠組みを検討していきたい。</li> </ul>
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業を支援する人材を地域で育て、共有できる仕組みづくりも必要ではないか。</li> <li>・学生を就職後に活躍する人材にしていくためには、就業意識を啓蒙する機会を持つべき。</li> <li>・地域同期意識を醸成したり、自社の先輩だけでなく他社にもメンターを作ってはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ニーズに合った支援人材育成や活用手法、地域連携による人材育成等について、本市の現状を分析し、制度・体制の構築を検討していきたい。</li> <li>・大学等と連携した勉強会や、インターンシップ等を通じて、学生の就業意識の醸成を図っていきたい。また、若手社員の定着に向けた支援のあり方について検討していきたい。</li> </ul>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営者を含め、将来を担う若手が意見を言うことができる環境を整備すべき。</li> <li>・経営者に対する年代別の支援があっても良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、経営者や若手社員等による意見交換の場づくりの定期的な実施などを検討していきたい。</li> </ul>

No.	主なご意見・ご提案	仙台市の取組み状況・今後の方向性
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優秀な人材にとって魅力ある会社や仕事が地方に少ない。</li> <li>・いかにU I Jターンにより仙台への人材の還流を作るか検討していくべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏等の人材のU I Jターンを促進するため、首都圏等での合同企業面接会などについて、効果的なあり方を検討していきたい。</li> </ul>
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年以内に多くの新規就農者が離職する。農業に対するイメージのズレがあるように思われるため、教育や広報により適切に伝えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農希望者に対する適切な情報提供や、新規就農者の定着率向上を図るための取組みについて検討していきたい。</li> </ul>
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台市主催で、中小企業と学生との新たな出会い方を提示してはどうか。（職場の雰囲気や伝わる動画サイト、やりがい百科事典、経営者によるヴィジョンプレ大会等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業と学生との効果的な出会い方について枠組みを検討していきたい。</li> </ul>
19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業へ就職することへの保護者としての意識を変えるために、保護者向け合同説明会の開催や、保護者向け就活勉強会を開催してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業への理解を深めてもらうため、保護者を対象とした説明会等のあり方を検討していく。</li> </ul>
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の採用力を向上させるための相談窓口を設置してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材の採用や育成といった中小企業の喫緊の課題に対応するための雇用相談窓口を整備していきたい。</li> </ul>